

教育目標:	○健康で たくましく生きる ○みずから学び 創造する ○心豊かに互いを尊重する
めざす学校像:	○学ぶ喜びが実感できる学校 ○ふれあう喜びに満ちた学校 ○夢を育む学校 (校訓) 師弟同行、夢
めざす生徒像:	超スマート社会 Society5.0に向けて、世界の人々の幸福を願い、主体性を持って生きる人
めざす教師像:	授業実践を通して授業力を高め合える教師、適切な指導ができる教師、組織の一員として協力して職務を遂行できる教師

領域	中期目標	短期目標	具体的方策	努力指標	努力指標	成果指標	成果指標	今後の課題	学校関係者評価記入欄
				(中間)	(最終)	(中間)	(最終)		
確かな学力の伸長	ICTを活用した令和型教育により、学ぶ楽しさ、わかる喜び、学び続けようという意欲を育む授業を工夫し、確かな学力の伸長を図る	●基礎的・基本的な知識及び技能の習得	ICTを活用し、双方向の個別最適化された学びを充実することで、誰もが「わかる」「できる」授業を実現する。	3	3	4	4	情報提示の手段としての活用だけでなく、個別最適化された学びには、思考ツールとしての活用を進めていくこと。	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた機器と配信状況の中で精一杯の工夫をしている。Teamsの様々な機能を上手く使って試行してほしい。 ・工夫したICTの活用で、生徒や教員ともにスキルアップしている。 ・機器やインターネット環境の問題がある中、工夫してよくやっている。制限がある中では限界があるが、もう少しインターネット環境整備でよくなるのではと感じた。 ・対話的な学びは対「人」ばかりでなく、テキストや教材との対話も含まれるので、先生方が工夫していることに価値がある。 ・生徒総会など討議・発表の場がもて、主体的に取り組まれていたことが評価できる。
		●主体的、対話的で深い学びの実現	討議、発表など学習形態を工夫し、自分の考えを自分の言葉で表現する場を数多く設ける。	3	2	4	4	討議、発表については、ICTを活用することで学習形態の工夫が可能であり、その活用法について進めること。	
豊かな心の育成	人と人とのふれあいを通し、自己肯定感を高め、心豊かに自信をもって生きていく力を育む	●道徳教育の充実	特別の教科道徳の趣旨を踏まえ、題材や発問を工夫することで「考える道徳」「議論する道徳」の授業を実現する。	1	1	4	4	じっくりと考えさせることは達成できているので、教科の授業と同様にICTを活用することで互いに意見交換ができる工夫をしていくこと。	<ul style="list-style-type: none"> ・議論は今の時期難しいので、深く考えさせることに意をつくすことが大事である。Jam Boardなどを上手く利用していくことが必要。 ・意見交換などの場が持て、考える機会ができたよかったと思う。 ・卒業していく3年生が「二中らしさ」を改めて考えてみて、プラスにとらえていけたらいいと思う。 ・二中らしさを考えて、新たな形を模索されているという点はよかった。 ・今年度は工夫されて、ほとんどの活動ができたよかったと思う。
		●学校文化としての二中らしさの継承と深化	生徒の活動を通して、二中の伝統を継承・深化させるとともに、責任感・協調性・自主自立の精神を育む。	2	2	3	1	この2年間で中断・縮小していた諸活動を継承し、改善という視点を含めて、新たな形での提案をしていくこと。	
体力向上	コロナ禍における健康で安全な学校を目指し、たくましく生きていく力を育む	●運動の日常化による体力・運動能力の向上	授業や学校行事、部活動等で指導法を工夫し、運動の日常化を図る。	4	4	—	1	なぜ結果が思わしくなかったのかを分析し、引き続き保健体育の授業を核として、体力向上に向けた取組を工夫していくこと。	<ul style="list-style-type: none"> ・登校途中や学校、家庭でできる運動を継続できれば十分だと思われる。ただ、取組姿勢は大切なので、4年度は体力から健康面で捉えてみてはいいかがか。 ・体力低下は仕方ないが、もう少し、家庭で取り組める筋力アップ体操など工夫をしていただきたい。 ・コロナ禍で生徒の体力が落ちているのが顕著とのこと。オンラインだからこそできる取組みなど引き続き工夫してほしい。
特色ある教育活動の推進	特色ある教育活動を推進し、地域から信頼される学校を創造する	●特別支援教育の充実	学校行事による共同学習を工夫し、通常の学級と特別支援学級の交流を推進する。	4	1	2	2	協力して進めていこうとする生徒の意欲は高いので、これを大切にして、できる活動を工夫していくこと。	<ul style="list-style-type: none"> ・三中[組との交流など工夫している点は素晴らしい。3月の「安心・安全を考える会」について、生徒会本部の活動が全校生徒の活動に広がっていく点は評価できる。また学校が工夫しているICT活用を更に応援して下さる市教委の支援を希望する。 ・オンラインでの交流で新たな発見があったとのこと、よい試みだと思ふ。 ・意欲を尊重しながら工夫して取り組んでいると思う。 ・地域とのつながりが減り、特に小学校との交流が少なくなっている点は危惧する。 ・コロナ禍で商店会のイベントも軒並み中止となった。中学生が参画できる催し等、情報共有できればと思う。
		●部活動の改革	地域との組織作りを進め、学校と地域が協働した部活動の具体的な実現方策の見直しを立てる。	1	1	—	1	先行している取り組みを情報共有し、今後示される予定の文部科学省から具体案を踏まえて進めていくこと。	